

夏の活動報告

ヒロシマ・ピースツアー2015

を実施しました!! 8/5(水) 8/6(木)

「ヒロシマ・ピースツアー2015」に、組合員さんとご家族15人と事務局4人、計19人が参加しました。

1日目 午前中は、日本生協連合会主催の「ピースアクション」に参加しました。親子でヒロシマピースツアーに参加した組合員さんたちは「アニメと被爆の証言」、大人のみで参加した組合員さんは「新聞記者から見た被爆の実相」企画にて、入市被爆者の苦悩を取材したお話を聞きました。

午後は、全国の生協が交流する「ピースアクションinヒロシマ 虹のひろば」に参加しました。被爆ヴァイオリンと被爆ピアノの演奏から始まり、広島市長のあいさつ、リレメッセージ(被爆者のお話、高校生の原爆劇、子ども平和会議アピール文)がありました。その後は各ブースを自由に周り、全国の生協が取り組む平和活動に触れました。「被爆したこの話を次の世代につなげなければ」という思いから、広島の高校生たちが被爆者のお話を聞いて絵に表した展示ブースは多くの参加者が集まっています。

2日目 平和祈念式典に参加するため、朝早い時間に出発しました。今年は被爆・終戦70年のため、平和記念公園に向かう路面電車の乗り場には、例年になく長蛇の列ができていました。原爆投下時刻の8時15分、平和公園園内に黙祷を行いました。その後、大学生ボランティアによる碑めぐりに参加しました。

午後は、爆心地から約3.7km離れたところにある江波山気象館に行き、8月6日原爆投下日の気象図や、黒い雨の降雨時間などの資料を見学しました。

参加者の声 私自身ある程度の戦争や原爆について学んでいましたが、今回の被爆証言では知らない事実が多くありました。同じ日本人でも、いかに真実が知られていないのか痛感しました。(40代女性)

原爆は罪のない人も巻き込んでしまうのメケメケだと思います。私は平和な国がたくさん増えたいと思います。(10歳)

今まで「戦争」という言葉を度々耳にしていますが、どこかで「教科書の中にある歴史の1つ」、または「テレビの中のできごと」の感覚でしたが、その場をその場を経験した人の話を直接聞いて、急に身近な現実のものと感じました。死ぬのも地獄、生きるのも地獄、私なら生き抜くことができたのだろうか。(40代女性)

コープのスマイルフェスタ

開催しました!! 8/22(土)

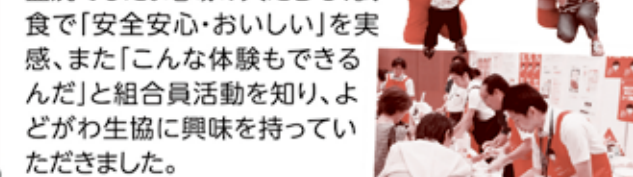


立命館いばらきフューチャープラザにて開催しました。

今年は「地域のみなさんにもよどがわ生協を知ってほしい」と地域の一般

参加もよびかけ、組合員さんとお友だちと合わせて多くの参加申し込みをいただきました。生協商品試食や組合員活動紹介、知る・学ぶ体験としてサイエンスショーも行い、当日は約500人が来場し、楽しく体験・交流する場となりました。

CO・OP共済の「コーすけ」や、CO・OP商品のキャラクター「ラブコ」が登場し、子どもたちに大盛況でした。地域の人たちも、試食で「安全安心・おいしい」を実感、また「こんな体験もできるんだ」と組合員活動を知り、よどがわ生協に興味を持っていただきました。



出張サイエンスショー



午後には「光のヒ・ミツ」の風の流れをドライヤーで実験

組合員さんのお便りコーナー

わいわいポスト



おたのしみコーナー
大新さんの国内産「あじの三枚おろし」とてもおいしく毎回購入しています。骨も気にならず、とても食べやすいです。
茨木市 ジュンさん



帰宅後、夕飯の買い物について
旅行で1回注文書を出せなくて、食品が届かず、牛乳・玉子・その他諸々、帰宅後に買い出しに。改めてありがたみを感じました。
茨木市 あまのじゅんさん

もつと平和への取り組みを！
「平和への取り組み」『安部法案』『原発』『再稼働』『原発事故』などに関する生協としての姿勢、わかりやすい説明などを常に掲載してみんなに広く知らせてほしい。知らない人があまりにも多いし、無関心な人も多し。学習会なども開いてほしい。同じ思いを持った人びとと束ねる役目をしてほしい。
茨木市 ももかずさん

「コープ」de スマイルフェスタ

— 当選者 — 応募総数 41通 正解41通

8月度商品検査報告

7月21日～8月20日

安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。放射能検査の取り組みは、よどがわ生協のホームページにも掲載しています。

★商品検査の取り組み状況

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	1,060	14	再検査・継続検査・調査を要するものが、14品ありました。
残留農薬検査	66	なし	問題ありませんでした。
食品添加物検査	21	なし	問題ありませんでした。
残留放射能検査	93	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。(検出限界値は20ベクレル/kg)
卵質検査	176	なし	問題ありませんでした。
外部委託検査	なし	なし	—

商品検査数 1,416件(前年 1,666件)

商品回収・人体危害にかかわる不適合はありませんでした。

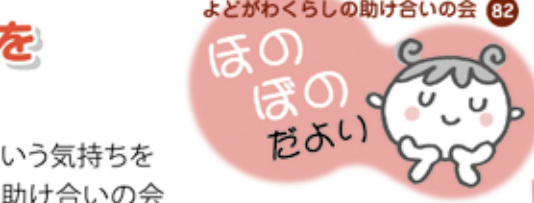
※おおさかバルコー商品検査室にて実施

活動会員の学習会を行いました

「こまった時はお互いさま」という気持ちを大切にしている組合員どうしの助け合いの会『ほのほ』では、7月22日(水)に活動会員学習会と共に活動交流会を行いました。昨年秋と同じく特定非営利活動法人エフ・エーの長福洋子さんを講師に迎え、「有償ボランティア活動に入る前に、そしてこれから」という内容を学びました。



お申込み・お問い合わせ ▼ 関心のある方は、お気軽にお電話ください。
「ほのほ」事務局(組織部) ☎06-6319-5619(月～金 9～17時)



2015年度 東北応援バス募集中!!

募集定員 3生協定員60人(よどがわ生協は20人)
★応募多数の場合は抽選。最低定員15人に満たない場合は中止となります。結果は後日郵送にてご連絡します。

参加費 大人(中学生以上) 12,700円
子ども(小学生以下) 9,700円
※小学生5-6年生は必ず親同伴
※参加費にはボランティア保険などを含みます

参加条件 組合員および同居・同世帯の家族(2世帯同居は不可)で、小学5年生以上。家族での複数人による参加は可

※費用の一部を生協が負担し、実施しています。活動内容は、農業作業支援・被災地視察など、現地で要請に基づき、各回違う内容となります。
※天候不順により中止する場合があります。
※終了後、レポートの提出をお願いいたします。
※宿舎は男女別・相部屋です。例えば、小学生の男の子とお母さんで参加の場合も男女別で、部屋は別々となります。

実施予定日	申し込み締切日	実施予定日	申し込み締切日
6回目 12/23(水・祝)～12/26(土)	11/20(金)	7回目 12/28(月)～12/31(木)	11/30(月)

くわしくは下記までお問い合わせください。

募金活動報告 (9月18日現在)

東北支援募金 1,168,000円

今後も募金にご協力をお願いいたします

産直登録バナナの産地を訪問しました

7月26日(日)～30日(木) 訪問先: タイ
直産登録バナナ(既存産地のトゥンカーワット農園経営農家と、昨年から新産地となったサラブリ地区 PJJ 自社農園の2カ所の視察交流を行いました。農家離れが加速するタイの若い世代にバナナ栽培技術を伝承し、次世代のバナナ農家を育成する「次世代農家育成プロジェクト」を進めています。バナナ1袋の利用につき1円を支援金として、今回は2014年7月2回と2015年7月1回の利用実績から16万2,358円を贈呈しました。苗代や肥料代、子どもたちの農作業後のお菓子や飲み物の費用などに活用されます。今年は長期に渡る水不足と突風の被害により、バナナの育成不良や規格外品が増加し、7月4回と8月4回までお届けする量・価格が変更となり、ご迷惑をおかけしました。現地では天候に翻弄されながらも無農薬にこだわり、一生懸命バナナ作りをしています。生産者と「産直登録バナナ」を今後ともどうぞよろしく願っています。



理事会だより 2015年度 第4回理事会(9月11日開催)

■仲間づくり(8/20現在)			■出資金(8/20現在)		
8月度純増	-124人		8月度純増	-535万円	
組合員数	9万7,657人		出資金総額	33億6,503万円	
組織率	9.7%		1人当たり平均	3,458円	

	8月度(7/21～8/20)			2015年度累計(3/21～8/20)		
	実績額	計画比	前年比	実績額	計画比	前年比
供給高	11億1,857万円	103.2%	106.7%	55億7,222万円	104.3%	105.2%
事業総剰余金	3億2,930万円	104.1%	107.4%	16億 44万円	103.9%	106.1%
事業経費合計	2億9,940万円	100.1%	106.8%	15億3,800万円	99.2%	105.6%
経常剰余金	3,367万円	165.1%	112.8%	8,295万円	108.8%	109.2%

※1万円未満は切り捨てて表示しています。

- 審議事項**
 - 来年度の総代会で実施する役員改選に向けて、地域区理事推薦委員を確認しました。
 - 地域区理事自薦申し出に関する公示内容を確認しました。
 - 秋の総代懇談会に参加していただくお取引先を確認しました。
 - 10月に取り組む募金について確認しました。
- 報告事項**
 - 前回理事会(8月11日)以降のおもな活動報告
常勤理事会、他団体機関会議、組合員活動、労理共催学習会などについて報告しました。
 - 8月度経営・事業状況について報告しました。

お問い合わせ・連絡先 組織部 ☎06-6319-5619(月～金 9～17時)